

「THE竹フェス」「THE米フェス」

実施日時	令和5年 12月 8日 10時から11時まで 令和5年 12月 9日 11時から15時まで
実施者	【THE竹フェス】横浜市立宮谷小学校4年1組 41竹Lab / SOZai循環Lab / 【THE米フェス】横浜市立宮谷小学校5年2組
開催場所	三ツ沢公園
参加人数	約500人

- 実施内容
- ・三ツ沢公園の間伐竹を使った遊び(ボウリング、弓矢、竹ぽっくりなど)
 - ・竹で作った楽器、カゴ、ベンチなどの展示
 - ・手作り竹炭の体験、販売
 - ・竹炭コーヒー、竹の皮に包んだおこわなどの販売(キッチンカー)
 - ・地域の方の協力を得て学校で作ったお米で「ポン菓子」を作り、試食として配布
 - ・学習成果の展示として「米芝居(紙芝居)」「米クイズ」



竹ボウリング



竹炭体験



飲食販売(キッチンカー)



ポン菓子配布



米芝居

来場者満足度			
とても満足	満足	不満	とても不満
89.7 %	10.3 %	0 %	0 %

来場者の主な感想

- ・竹だけのテーマでこんなにいろんな展示や体験ができるのだなとびっくりし、竹にとっても興味がわきました。
- ・美味しかったし、楽しかったし、竹の活用の幅広さを感じました。
- ・竹炭で描いた絵葉書が味のある作品で、とても良かった。
- ・子供達が、一生懸命取り組んできた活動が見られて楽しかったのと感動でいっぱいです。
- ・ビンやチラシ、看板のデザインも素敵でした。先生方はじめ、関係者の皆様、お疲れ様でした。
- ・生徒も素材循環Labの方たちも生き生きして、とてもいい展示、企画と思いました。焼き芋とおこわがすぐ完売してしまって、おこわが食べられなかったのは残念でした。

実施者の主なコメント

成果・満足度

- ・地域の方に竹に親しんでいただくというイベントの目的を達成できた。
- ・子ども達にとって、竹フェスや竹炭墨汁の商品開発、様々な準備全体含め、1年間の中で最も達成感のあるイベントとなった。また、米フェスができたことで子供たちの満足度は高かった。

その他

- ・公園の指定管理者が企画に賛同していただき、連携したことで、スタッフおよび搬入のための複数の駐車場や、トイレ、水、電源、テント・机、椅子の設備を提供いただけた。その結果、数百人規模のイベントの円滑な運営につながった。
- ・小学校だけでは実施は難しく、内容を充実させるにはノウハウを持った事業者の力が必要。
- ・飲食は今回のコンテンツの中でも集客が強かったので、欠かせないものである。
- ・書類をやりとりする先が指定管理者と市のはま・ゆめパーク担当職員のみで質問に対しても迅速に回答いただけたため、短い準備期間でも実現できた。また、担当職員が提出物を整理して示してくれるのは良かった。
- ・物販や食品販売をしても5,000円程度の保険料を捻出するのは難しい。
- ・飲食は保健所への申請が必要で事業者のノウハウがあると助かる。
- ・企画書様式について、提出する書類や必要事項が分かりやすく良かった